

令和3年度 自己評価結果報告書

NO.1

学校法人 ゆりかご未来学園

幼保連携型認定こども園 日向南こども園

令和4年3月15日

A：大変良い B：良い C：一部検討を要する D：改善を要する→どれか1つに○をつけて、各項目ごとに意見・改善案があれば記入して下さい。

項目	内 容	評 価(人数)				意見・改善案
		A	B	C	D	
教育・保育理念	① 理念や基本方針を具現化して職員に周知されているか	4	5	1	0	子どもの実態に合わせた保育活動はなされているが、理念・基本方針を意識した活動になっていない。 日々の保育活動が理念・基本方針に則ったものであることを保護者・地域にアピールする。
	② 理念や基本方針を具現化して園や地域の特色を生かし、保護者に周知されているか	4	4	2	0	
	③ 理念や基本方針に基づいた教育・保育が行われているか	2	6	2	0	
	④ 一人一人の子どもの人格を尊重した教育・保育について職員が共通の理解をもっているか	2	5	3	0	
	⑤ 年間教育・保育目標に基づいてクラス別の特色を生かしているか	7	2	1	0	
教育保育の計画	① 社会情勢や子どもの実態、地域性などを考慮し、必要に応じて教育・保育課程の見直しを行っているか	6	3	1	0	教育・保育課程を見直すための時間とシステムを確保する。 子どもの発達や興味関心を考慮した行事がなされている。
	② 指導計画は乳幼児の心身の発達を踏まえ、長期的な視野に立ち、5領域・10の姿に基づいた活動や生活が展開できるように配慮し作成されているか	6	3	1	0	
	③ 子どもの体験が豊かになるよう行事を精選し、子どもの発達を踏まえて、その内容や実施の仕方について見直しを行っているか	4	5	1	0	
子どもの発達援助	① 子ども一人一人の健康状態や発育・発達の状態を把握し、職員間で共有されているか	4	5	1	0	個々の子どもに十分に対応できるだけの職員数が確保が望まれる。 子どもが意欲を持って主体的に取り組める環境づくりが十分でない。 危険を回避するための危機意識に個人差が見られる。 給食指導は無理をせず、子どもの実態に応じた柔軟な対応が望まれる。 コロナ禍で楽しい給食は難しかった。 園内の危険箇所については即改善する。 個別の支援が必要な子どもへの具体的な手立てを工夫する。 コロナ禍で小学校と連携する場面は少なかったのが残念。
	② 子どもが安定感をもって過ごし、自分の気持ちを安心して表すことができるように留意しているか	4	4	2	0	
	③ 子どもが主体的に活動できるような人的・物的環境が整備されているか	3	6	1	0	
	④ 子ども一人一人を受容し、理解を深めて働きかけや援助を行う体制に努めているか	1	7	2	0	
	⑤ 健康安全や発達の促進を十分に図るため、日々の環境整備に留意しているか	5	4	1	0	
	⑥ 子どもに相應しい、食生活が展開されるように、食事について見直しや改善を行っているか	4	5	1	0	
	⑦ 子どもが食事を楽しむことができる工夫をしているか	7	2	1	0	
	⑧ 子どもが自ら周囲の様々な環境と関わり、体験を積み重ねていけるよう計画を立て実施しているか	3	7	0	0	
	⑨ 子ども自身が自分を肯定する気持ちが育まれていくよう、信頼関係を築く援助に取り組んでいるか	4	6	0	0	
	⑩ 保護者の生活形態を反映し、入園時期や登園日数の違いを踏まえ、子ども一人一人の状況に応じた配慮に留意しているか	3	7	0	0	
	⑪ 個別の支援や関わりのある子どもが安心して生活できる教育・保育環境を整備し、内容や方法に配慮しているか	3	6	1	0	
	⑫ 小学校との連携や就学を見通した計画に基づいて、教育・保育の内容や方法、保護者の相談に留意して行っているか	4	5	1	0	

令和3年度 自己評価結果報告書

NO.2

A：大変良い B：良い C：一部検討を要する D：改善を要する→どれか1つに○をつけて、各項目ごとに意見・改善案があれば記入して下さい。

項目	内 容	評 価				意見・改善案
		A	B	C	D	
保護者に対する支援助	① 子どもの発達や教育・保育などについて様々な場を設け、保護者との共通理解に努めているか	4	4	2	0	保護者会や子育て講演会など子育てについて考える場を設定する。 地域の子育て世代に子育て支援の拠点としてアピールが必要である。
	② 虐待に対応できる園内の体制(医療機関、児童相談所など専門機関との連携)の下、不適切な療育を受けていると疑われる子どもの早期発見及び予防に努め、通知、報告義務を行っているか	5	5	0	0	
	③ 地域の子育ての拠点として「こども園の開放」「相談・援助」「交流の場の提供」「情報の提供」の支援を行うよう努めているか	4	3	3	0	
教育・保育を支える組織的基盤	① 感染症やその他の疾病の発生予防に努め、衛生面や職員の健康管理に対応する専門職員の資質向上に努めているか	1	8	1	0	感染症等の対応ができる保健室等の施設を充実させる。 子どもの健康等について職員間の共通理解を図る。 地震・津波発生時の避難場所が園から遠いので、避難に時間がかかる。 不審者対応の訓練を実施するとともに、不審者侵入防止策を考える。 保育士としての資質向上のための研修を充実する。 守秘義務の徹底を図る。 保護者との丁寧な対話を重ね、信頼関係を築く。 園運営について共通理解・共通実践を徹底し、よりよい意思決定ができる組織づくりに取り組む。
	② 体調不良、アレルギー疾患等をもつ子どもに対し適切な対応や体制を整備しているか	3	7	0	0	
	③ 避難訓練・安全点検・不審者対策訓練等、子どもの安全確保のための適切な対応を実施できるように整備しているか	4	4	2	0	
	④ 地震などの自然災害に対する防災訓練・防災対策を行い、危機管理に努めているか	6	4	0	0	
	⑤ 園長がリーダーシップを発揮し、職員が教育・保育の内容の充実と質の向上が図れるよう努め導いているか	7	3	0	0	
	⑥ 研修等、教育・保育の質の向上を図るべく、自己研鑽への取り組みを計画的に実施しているか	5	5	0	0	
	⑦ 教育・保育計画が職員に周知されているか	4	4	2	0	
	⑧ 教育・保育計画が保護者に周知されているか	5	2	3	0	
	⑨ 守秘義務の遵守が全職員に周知され、誓約書署名の下に守るよう指導しているか	5	5	0	0	
	⑩ 個人情報を適切に取り扱うとともに、保護者の苦情に対し、早期解決を図るよう努めているか	5	4	1	0	
	⑪ 苦情解決の仕組みが確立され、保護者等に十分に周知・機能しているか	2	6	2	0	
	⑫ 保護者が相談や意見を述べやすい環境を整備しているか	1	7	2	0	
	⑬ 保育教諭等が主体的に自己評価に取り組み、教育・保育の改善が図られるように努めているか	3	4	3	0	
	⑭ 評価結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にし、改善策・改善実施計画を立て実行に努めているか	3	5	2	0	

施設長評価

今年度もコロナ禍での感染症対策と行事等の実施に苦慮した1年であったが、常に子ども達にとって何が一番大切な職員間で話し合う機会を多く持つことができたことはよかった。

自然災害や不審者による事件が多発するなか、園の危機管理体制や避難訓練・不審者対応訓練の見直しや充実は重要課題である。

よりよい園運営のためにトップダウン・ボトムアップのバランスを取りながら、全職員が共通理解・共通実践できる組織づくり・人間関係づくりに努めたい。

教育・保育課程の見直しを常時行い質の高い保育に努めるとともに、保育教諭の資質向上のための研修会等への積極的な参加を推進する。

子育てについての情報発信や地域の子育て世代が自由に利用できる園庭開放、子育て講演会などを積極的に行い地域の子育て支援の拠点としての役割を果たす。